うしく里山の会 広報誌
さとやま
No. 112　2012年6月号

NPO法人 うしく里山の会
事務局 〒300-1212 茨城県牛久市結束町489-1
（牛久自然観察の森内）
TEL 029-874-6600　FAX 029-874-6812
HP http://ushiku-satoyama.org/
（アドレスが変わりました）

アヤメ園の子河童はどこから来たの？

牛久駅東口当時の子河童

牛久観光アヤメ園へ引っ越した子河童

子河童の気持ち

坂 弘毅

牛久観光アヤメ園に大河童が２体、１体はアヤメ園内の一等席に、もう１体は三日月橋の袂からアヤメ園を見据えています。その２体の顔はリアルで不気味ですが、今では仲間のような気がしてきました。

そして、数年前に突然子河童が引っ越してきました。可愛い小学生ほどの河童は、犬とずうっと対峙しています。観光客には大人よりも子河童が人気の的になっています。

この河童アヤメ園に来る前は牛久駅東口の一等地にいました。しかし、突然引っ越しの命令が出たのです。本人は何が何だか分からないようですが、新天地の水と緑の美しい環境に今では十分満足しています。

その子河童の本籍地は、牛久駅東口、牛久市中央５丁目シャトー通りの入口で観光客に愛嬌を振りまく名物の子河童でした。でも乾ききったコンクリートのまちなかでさぞ喉が渇いたことでしょう。その乾ききった市街地から河童本来の生息地水辺に移り、さぞかし喜んでいるのではないかと思います。

今では多くの友達が出来ました。シラサギ、カルガモ、カワセミ、ムクドリ、キセキレイ、セグロセキレイ、モズ、カラス、ツバメ、スズメ、コジュケイ、バン、オオバン、ドジョウ、メダカ、コイ、ヤマカガシ、ウシガエル、トウキョウダルマガエル、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエル、ウシクサトヤマノカイ等々、多くの友達が出来て喜んでいます。これら友達の中でもウシクサトヤマノカイという動物は案外横柄で付き合いづらいところもありますが、よく観察するとみんな単純で気だても優しいのでホットしています。これから先、長い付き合いになるかと思いますが、お互いに頑張りましょう。

プロジェクト活動報告

街路樹

チーム街路樹２０　受託事業報告

森田　格

新緑映える東北の耶馬渓へ

さる5月13日、矢祭山の研修会に参加しました。東北の耶馬渓と呼ばれる矢祭山は、茨城県との県境付近に位置し、その麓には東北最南端の町、矢祭町があります。

その日は朝6時前に牛久駅に集合。先週の雹や雷をもたらした寒気のせいか、その日の朝も少し肌寒かったものの、空は真っ青の快晴、まさに旅日和でした。常磐線で牛久駅を出発し、水戸駅で水郡線に乗り換えます。心配だった水郡線の混み具合は幸いなことに外れ、車両は貸切状態でした。道中、単線の蘊蓄や車両切り離しを楽しんでいると、あっという間に目的の東館駅に到着。

あたりは田畑と山林に囲まれた里山の風景です。予約していたタクシーに乗り込み、まずは滝川渓谷の登り口まで。滝川渓谷の遊歩道は、普段２００円の環境整備料がかかりますが、放射性物質の風評被害払拭のため、無料開放されていました。駐車場には観光客のものと思われる車が数台。登り口のお団子屋でさっそく腹ごしらえをして、午前10時に出発しました。

滝川渓谷は、ブロック状の巨岩が渓流のあちらこちらに転がり、とても印象的な景色が広がります。市販の地質図によると花崗岩に属するようです。また、数日前に降った雨のせいか、水量が多く少し濁っていました。太陽の光が新緑の木々の葉を透過し、柔らかな光が渓流に降り注いでいました。序盤は思いのほか谷が深いため、なかなか水際を歩けません。

若干のアップダウンを繰り返しながら、現れる滝や植物に足を止め、カメラを向けながら進んでいくと、ふと足元に小さな花びらが落ちていました。10m以上成長した山桜が、まわりの木々に負けまいと、頭上のはるか上で咲いていました。こんなに背の高い山桜を真下から見上げるのは初めての経験でした。普段あまり見かけないサワグルミやネムノキ等の特徴を、メンバーの方々に教えて頂きました。やはり、植物に詳しい方々と一緒に歩いていると、自分の見ている景色が普段と違って見えてきます。

滝川渓谷遊歩道案内板

最後の滝、銚子の口滝は水量が多くてとても迫力があり、これをバックに記念写真をとりました。ここから先は河床が緩やかになり、深い淵にゆったりと水が流れています。禁漁区の看板がたっていたので、魚たちの産卵場になっているのかもしれません。

山頂には、水芭蕉や八重桜、つつじに囲まれた「こだわりの十割り手打ち蕎麦屋」があります。ちょうどお昼時に到着しました。予約していた山菜天ぷらの十割手打ちざる蕎麦は、山菜と蕎麦の味や香りを楽しめ、とても美味しく頂きました。

午後1時、再びタクシーに乗り込んで、今度は矢祭山方面へ。こちらは多くの観光客で賑わっていました。まずは、あゆのつり橋を渡って夢想滝へ。こちらも地質は花崗岩で、白い岩盤の上を水が流れる美しい景色でした。滝の近くで、たっぷりのマイナスイオンに癒されました。

最後は矢祭山公園のつつじヶ丘広場へ。開花のピークは既に過ぎていたので満開というわけにはいきませんでしたが、両脇にピンクや赤、白、紫のつつじ

を見ながら、広場を1周しました。

そうこうしているうちに、帰りの電車の時間が近づいてきました。矢祭山駅15時34分発の水郡線で帰路につき、牛久駅には18時20分頃到着、半日（12時間）の充実した研修会でした。

渓谷でホッと一息、記念写真

親子農業体験講座

飯田　雅俊

今年も自然と大いに触れあいましょう

自然に包まれ親子で野菜を育て、その野菜で収穫祭をおこないます。カエルやカナヘビなどをつかまえたりヘビに出会ったりの中で土とあそびながら、たくさんのことを感じ取ってほしいと行っている「親子農業体験講座」。２００８年からはじまり、それ以前はじゃがいもプロジェクト、そばプロジェクトと、それぞれで活動をしていました。

昨年は、震災による原発事故でいつものとおりすすめることができませんでした。放射線量を気にかけながら、せっかくのジャガイモが、サトイモが、ソバがたべてよいものか。こどもたちと畑で一緒に仕事してよいのか、近づいてはいけない所はどこかと心配しながらではあったが、いままでで一番多い参加者であったがどうにか終わらせることができた。

今年は、講座の発足からの責任者がやめることになり、残りのスタッフでどうするかと話し合った。

勤めを持った人だけで休日の事業だが、準備などを考えると無理ではとの意見はでたが、どなたかの「やりましょう」の一言があり、実施することとなり私がトコロテンのように押し出されて責任者（何の責任？）となってしまった。けれど昨年の様な規模では運営に不安があり、昨年の参加者に呼び掛けたら、参加していただける7家族スタッフで始めることとなった。

すでに、ジャガイモ、サトイモの植え付けは終わっている。全員がリピーターであり、子供同士もすでに友達である。作業を始めて十分もするとカエルをつかまえたり、それを得意げにみせにきたりと遊び始める。何の体験講座かと思うのだが、楽しくスタートできた。

今年は、区画を年度ごとに割り付けをおこない、そのことにより無理しない程度の作業量とすることとした。また、マルチ（ビニールで植え付け箇所を覆う）を利用し、今までのやり方と作業量がどれだけ違うかを試している。

春はタケノコ掘りが中止になり、梅の実取りがどうなるかわからない中で子供も大人も一緒にできることを考えようと思っている。

秋になるとサトイモ、ソバの収穫など作業量が多くなる、同様に子供たちの行事も重なってしまったりする。そんなときは会員の皆様に「親子農業体験講座」を体験してみませんかとお声をかけますので遠慮しないで、他の事業はどんなものかと参加をお勧めいたします。

里山自然観察隊

平塚　芳雄

苦心した5月のモニタリング１０００里地調査

5月の調査はメンバーの都合や連絡ミス等により、3人のメンバーがそれぞれ別々に行う結果となりました。私は5月12日（土）午前8時30分、いつものように所定のコースで調査を開始。天気、気温、風の状態など調査環境は申し分なかったのですが、植物に関する知識が浅いため同定に時間が掛り調査コース途中で午前12時を過ぎてしまい、その日はそこで調査を切り上げ、残りは5月17日（木）午前10時から実施。その日も時間がかかり終了したのは午後12時30分頃。

当初から1人での調査ではスムーズに進めることは難しいと考え、昨年の同じ時期に同じ地域で確認した植物のリストを参考に、事前に出現しそうな植物について図鑑等でその植物の特徴等を確認したり、シダ植物については知っている数種を除き調査対象外としたりしましが、現場では知識が浅い1人での調査ではなかなか種の同定が難しく断定ができないものが幾つも出ました。手持ちの図鑑では詳しい記述がなく該当しそうな種が見当たらないものもあり、止むをえず両日とも10種程の草を確認のため掘ってビニール袋に入れ持ち帰りました。

今回の調査で嬉しかったのは牛久城址の山林内でキンランを見つけたことです。

最近、砂利等が入れられ整備された山道の直ぐ近く1m程の所に1株だけ静かに咲いていました。昨年まで其処から15m程離れたところにはあったのを確認していたのですが山道の整備で消えてしまっていました。キンランは「牛久市レッドデータブック」では絶滅危惧Ⅱ種にあげられています。雑木林やスギ・ヒノキ林のやや明るい林床に生育しますが、管理放棄や乱獲により減少していると考えられています。

調査コースである牛久城址西側の水田は殆どの田んぼで田植えが済み水が張られ、畦の縁は「畔塗り（くろぬり）」がなされていました。放射能の心配はないのでしょう、昨年と同じ風景です。ただ、畦道はこの時季であれば湿地性植物などの雑草が生い茂っているはずですが、除草剤が撒かれたためか黒っぽい茶褐色になっており、緑で残っているのは除草剤に強いイヌスギナが生えている所だけ。イヌスギナは地下茎で増殖するので除草剤散布の影響が比較的少なく群生している所もあります。植物観察する立場の者にとっては残念な情況ですがこれも現実として受け止め調査を続けました。

落葉の地面に立つキンラン一株

森の畑のある風景

雑木林応援隊　石川　満夫

春の訪れとともに暖かさも増してきました。そんな森の畑の活動日、種じゃがいもの植え付けをしました。

じゃがいもの種類は多く、肉色もさまざまで白・黄・淡黄・紫もあります。変わり種の品種も増えています。種いもは大きいもの、小さいものが混在しています。

2～4個に縦切り、切り口を主体として、草木灰を腐敗防止などのためにまぶしました。

株間30～40㎝程に開け、真ん中に堆肥と化成肥料をまき、7～10㎝覆土しました。

生育期間は、追肥と土寄せが重要で、土寄せが不十分だといもが緑色となることがあり、良くありません。また茎の高さが10㎝程にのびた時で2本立てとして、いもを大きく育てます。

6月下旬～7月上旬楽しみと喜びの収穫時期となります。その前にいもの大きいのをさぐって掘り出し、新じゃがいもの味を楽しむのも良いことです。

ビタミンCがたくさんあるので、フランスでは『大地のりんご』と呼ばれています。森の畑作業の楽しみなことです。

作業の合間ベンチに座ったりしながら持参のお茶を飲んだり、お菓子・飴を食べたりし、皆んなでにぎやかに旅行などの話も続きます。楽しい一時となりました。

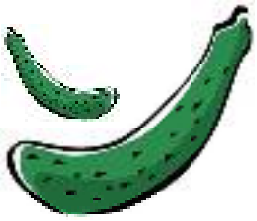
話は時として野菜の料理方法、家庭料理の自慢話、野菜の花と同じ様に話の花が咲いていきます。

収穫野菜のおいしい味はどうしてできるのか感心しています。生育していく姿の変化もかわいいものです。

店にない形の野菜があり、曲がったり、太かったり、細かったり、長かったり、短かったりしています。

畑は手作業が多く、汗を流し疲れを感じることもありますが、それを楽しみにし、心身ともに癒されています。

収穫間近に育った野菜



巨木リサーチ2事業報告

平塚　芳雄

遅咲きサクラと巨樹のガイド

今年度3回の実施を予定している牛久市協働事業「樹木ガイド」の第1回を去る4月28日（土）に「遅咲きサクラと巨木巡り」のテーマで実施、当プロジェクトが案内役を務めました。

参加者は27名（一般参加者23名、内夫妻4組。市側1名、里山の会3名）。今回も高齢者が多く、当初応募者は33名でしたが、当日欠席1名を含め10名のキャンセルがありました。

当日はなかなか曇がとれない天気ながら、気温は暑からず寒からずのまずまずの日和。

予定時刻を15分遅れ午前8時45分に市役所をバスで出発、東猫穴町の八幡神社へ。八幡神社ではイヌザクラ。次の上柏田の日枝神社ではサトザクラ（一葉・普賢象）とウワミズザクラ。

市役所でのトイレ休憩後、シャトーカミヤでサトザクラ（普賢象・関山・ウコン・御衣黄）。続いて近隣公園でシダレザクラと花の終わったオオヤマザクラ。最後に市役所構内で関山。これらの遅咲きサクラを中心に各箇所の樹木をガイド。ほぼ予定通り12時に無事終了しました。

案内したサクラは野生種のイヌザクラ・ウワミズザクラと植栽のサトザクラ：一葉・鬱金（ウコン）関山・普賢象・御衣香（ギョイコウ）。今年は寒さが長引き開花の時期が心配でしたが、ほぼ満開の状態の花を見ることができ、ソメイヨシノやヤマザクラは既に花を散らしていたとはいえ、遅咲きサクラの観察時期としては最高でした。

日枝神社鳥居前のサトザクラ「一葉」の説明を聞く参加者　12.4.28. 戸塚

イヌザクラとウワミズザクラは斜面林や雑木林などで見られますが気付かないことが多く、教えられないとサクラとは思えない花の形（花序がブラシ状）です。ちなみに、両者の見分け方として花序の枝に葉が付いているのがウワミズザクラ、付いていないのがイヌザクラです。より明確に理解できるように渡辺さんがイヌザクラとウワミズザクラの花序の現物を持参、参加者に配布しての解説。更に幸いなことに八幡神社のイヌザクラは枝が垂れ下がっていて、手にとって調べることができました。

戸塚さんは事前に撮影した写真を使って解説。日枝神社ではウワミズザクラの花が満開の様子を他の樹木に遮られることなく見ることができるポイントで観賞することもできました。

サトザクラの品種の見分け方のポイントとして、花の色や花びらの枚数と共に雌しべの葉化の状況や本数で判別できることを桜の木を前にして、資料を使い現物を見ながらの渡辺さんの解説で参加者の理解もより深まったことと思います。

あやめ受託事業報告

坂　弘毅

※アヤメ園の事業報告ですが作業前に観測しましたのでこの欄に掲載させていただきました。（佐藤）

金環日食　撮りたい一心の閃き

２０１２年5月21日（月）９３２年ぶりの世紀の一瞬がやってきた。９３２年ぶりとは、すごい数字だが、これは、日本の総人口の２／３の８３００万人の生活圏で見られると言うことだ。確かにこれはすごい。

しかし、前日までのんびりと構えていたツケが回ってきた。20日夕方、日食用眼鏡を購入しようと外出、先ず牛久の2軒の大型家電店、完売。次にホームセンター2軒完売、本屋4軒とも完売、更に竜ヶ崎、つくばと足を伸ばしたが入手出来なかった。

急いで帰宅、愛用のカメラ保管庫でＮＤフィルター（減光フィルター）を探索。見つかったのはサイズが異なる古―いＮＤ４が２枚出てきた。日食に使える減光フィルターとは、ＮＤ１０，０００００と言うものである。要するに太陽光を10万分の１に減光が必要。我が家のＮＤは２枚重ねて８であるから、使いものにはならない。さてどうするか、この時に閃いたのは小学校の時に当たり前にやったガラス板に蝋燭で煤を付ける方法であった。

物置でガラスの破片を見つけ蝋燭で曇を付けた。完成は日没後、テストは不可。ここまで来ればぶっつけ本番しかない。そして当日の朝を迎えた。

日の出4時29分きれいな朝日だ。　ガラスを太陽にかざす。まん丸で卵の黄身のような太陽がガラス越しに見える。よし、これでやってみようと決心。

月曜日はアヤメ園の作業日である。普段より1時間早くアヤメ園に出勤?。アヤメ園の中央に陣取り、三脚を据え、カメラを装着。そしてそーっとサイズの異なるNDフィルターを重ねる（サイズが異なるためカメラにねじ込めない）。その更に外側に手持ちの煤で真っ黒なガラスを重ねてみる。液晶に映し出されたのは右上から欠けだした太陽であった。思わず「ヤッター」と声を出してしまった。太陽は時々刻々欠けていく。そして金環（AM7時35分23秒ケ久時）、実に美しい。この金環もあっという間に下から欠けていった。世紀の一瞬、見事キャッチである。

時間の経過とともに捉えた日食

理事会報告

広報担当　佐藤　輝雄

第8回通常総会が開催されました

うしく里山の会の「第8回通常総会」が開催され、全ての審議事項が承認されましたので報告いたします。

開催日　平成24年5月20日（日）
時間　10時～12時
場所　牛久自然観察の森　ネイチャーセンター
　　レクチャー室
出席者数18名　委任状提出数49名　合計67名

当日の会員数は81名で規定の2分1を超えたため、定足数を満たし総会は成立しました。

（代表理事の挨拶）

うしく里山の会は、来年25年で創立から10周年を迎える。牛久市の高齢化が進む中、里山等の自然を守るためにも、うしく里山の会の活動は重要性を増すので一層の協力をお願いしたい。

（審議内容）

第1号議案　「平成23年度事業報告および決算報告について」説明があり審議の結果全会一致で承認されました。

第2号議案　「平成24年度事業計画および収支予算について」説明があり、審議の結果全会一致で承認されました。

第3号議案　「特定非営利活動促進法の改訂にともなう定款変更について」説明があり、審議の結果全会一致で承認にされました。

第4号議案　「平成24年度役員選任について」説明があり、審議の結果全会一致で承認されました。

以上が総会の結果ですが、議案の詳細については前に配布されました議案書を参照してください。

総会終了後、臨時理事会が開催されました。

第8回通常総会が無事終了して、その後理事が招集され臨時理事会が開催されました。

総会で役員の選任が承認たのは、

（五十音順）

理事　阿部　幸浩
〃　雨宮　廣之
〃　石神　良三
〃　斎藤　孝
〃　坂　弘毅
〃　佐藤　輝雄
〃　平塚　芳雄
〃　渡辺　泰
監事　小林　久
〃　増田　勝彦

以上の10名です。

理事会で役員の中から代表理事・副代表理事を選出し

代表理事　坂　弘毅
副代表理事　阿部　幸浩
〃　石神　良三

が再任されました。

役員一同、平成24年度のうしく里山の会の発展のため全力を尽くしていきますので、よろしくお願いいたします。

総会・理事会終了後、13時から牛久自然観察の森の周辺の美化運動の一環としてゴミ拾いを行いました。

参加していただいた皆様にお礼申し上げます。

ありがとうございました。

結束町みどりの保全区 エコアップ作戦　齊藤 孝

「エコアップ作戦」参加者募集のお知らせ

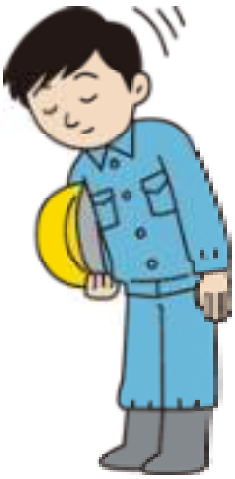
牛久市結束町の牛久自然観察の森に隣接する「牛久市結束町みどりの保全区」の森林維持管理作業を行う「エコアップ作戦」では、地域の皆さんの協力のもと、下草刈りや除間伐、風倒木の処理等を行なっています。活動には会員・一般問わず参加出来ます。皆様のご参加お待ちしています。

6月の活動日時
1日（金）午前9時～11時30分
17日（日）午後1時～3時30分
集合→牛久自然観察の森ネイチャーセンター
1階倉庫前（予約不要／荒天時は中止）
持ち物→長靴、軍手（長袖、長ズボン）
※刈払機・チェーンソー使用は資格所有者のみ。
問い合わせ先　029-874-6600
担当：石神

牛久自然観察の森だより チーフコーディネーター　齊藤 孝

園内における除染作業にご協力ください

六月の除染作業は、来園者が歩くことの出来る園路部分と、立ち入りを規制する区域の設定の為の杭打ちとロープ張りを行います。これは、園内の森林除染についての段階的な実施計画に関連しています。力仕事に自信のある方のご参加をお待ちしています。



実施予定日：平成24年6月20日(水)
午後1時～3時30分(雨天中止)
作業内容　：立ち入り規制区域設定の為の丸太杭打ち込みとロープ張り
持ち物　：布手袋（軍手等）、長靴、タオル、飲み物
服装は長袖長ズボン
※作業道具は森で準備
申込み不要：当日ネイチャーセンター前集合

身近な樹木 No.15 アカメガシワ

トウダイグサ科アカメガシワ属の落葉広葉樹の高木。本州（宮城・秋田県以西）～琉球に分布し、県内にも広く自生。市内では斜面林や林縁などにあり、先駆植物（人間の活動等によってできた裸地で、一番先に生育する植物）のため、あちこちの裸地に生えています。

樹皮は灰褐色で縦に細長い網目状の模様ができます。葉は互生し、長柄があり、葉身は倒卵状円形～広卵形で、先端は鋭く尖り、長さ5～20㎝。雌雄異株。開花期は6月～8月、枝先に長さ7～20㎝の円錐花序をつけ、雌雄花とも淡黄色で、地味な色合いです。果実は蒴果で扁球形、刺状突起があり、経約8㎜、熟すと3～4裂し、黒色の種子を出します。

名前は写真のように芽吹き（新葉）が赤く、この葉にカシワのように食物を盛ったことに由来します。別名で五菜葉（ゴサイバ）、菜盛葉（サイモリバ）と呼ばれます。新芽が赤いのは、赤い毛をいっぱい付けているためで、赤い葉の表面を爪でこすると、毛が取れて緑葉になります。

アカメガシワの赤色の新葉
12.5.5

材は柔らかく、床材・下駄などに用いられます。若葉は和え物やおひたしとして食べられます。

（戸塚昌宏）

2012年 6月 NPO法人うしく里山の会 活動カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 ○里山保全ボランティア 9:00NC ○クラフトプロジェクト 13:00NC	2 ○親子農業体験講座 9:00畑
3 ○巨木リサーチ2(特) 8:30ボランティアC	4 (休園日) ○アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	5 ○森の畑 9:30畑	6	7 ○アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	8 ○巨木リサーチ2(特) 13:30ボランティアC (HB編集委員会)	9
10 ○雑木林応援隊 9:00ムジナ	11 (休園日) ○アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	12 ○森の畑 9:30畑 ○里山自然観察隊 (モニタリング里地調査) 13:00得月院前P [会報等原稿〆切]	13	14 ○アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	15 ○クラフトプロジェクト 13:00NC	16 ○親子農業体験講座 9:00畑 ○チーム'街路樹20(受) 8.15牛久駅開札口 (松戸研修見学会)
17 ○運営委員会9:00NC ○理事会11:00NC ○里山保全ボランティア 13:00NC ○巨木リサーチ2(特) 8:30ボランティアC (ガイド)	18 (休園日) ○アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	19 ○森の畑 9:30畑	20 ○観察の森除染作業 13:00NC	21 ○アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	22	23 ○チーム'街路樹20(受 13:00ボランティアC (交流会)
24 ○雑木林応援隊 9:00炭屋	25 (休園日) ○アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	26 (休園日)	27 (休園日) ○会報発送 13:00NC	28 ○アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P ○森の畑 9:30畑	29	30 ○里山セミナー 10:00NC

※活動日は天候等により変更となる場合があります。

最新情報はホームページをご確認ください。

【凡例】

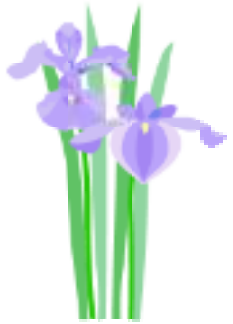
森：牛久自然観察の森
NC：牛久自然観察の森ネイチャーセンター
P：牛久自然観察の森駐車場
炭小屋：牛久自然観察の森駐車場奥の炭小屋
畑：牛久自然観察の森駐車場奥の畑
コジュケイ：牛久自然観察の森コジュケイの林
観察舎畑：牛久自然観察の森内観察舎前の畑

ムジナ：結束町の雑木林（通称ムジナの里）

市役所：牛久市役所本庁舎
市役所脇：市役所横の近隣公園
ボランティアC牛久市ボランティア市民活動センター
中央生涯C：牛久市中央生涯学習センター

アヤメ園：三日月橋観光アヤメ園

(休園日)：牛久自然観察の森休園日
(受)：受託事業
(特)：特別事業



編集後記

●5月21日、7時30分ごろ、牛久市でも金環日食が観測されました。私も三日月橋・アヤメ園で仲間数人と観測用メガネを使用して天体ショーを堪能しました。

東京近郊で金環日食が見られたのは1839年以来とのこと。そして今回のように日本の広い範囲で観測されたのは、平安時代の1050年（960年前）以来で、次に見られるのは300年後の2312年ということです。約1200年に一度のチャンスに私たちは出会うことができ非常に幸運に恵まれました。

観測用のメガネはこれで不要になったかと思いましたが、またすぐ利用する機会があるとのこと。それは6月6日、地球と太陽の間に金星が入る「金星の太陽通過」が起こるようです。7時10分頃に太陽の表面を左から右に通過しますので是非このメガネを利用して観測されたらいかがでしょうか。

●先日、テレビで「増えるヤマビル」について放送していました。私も若い時分には登山を楽しみ「ヤマビル」に遭遇したことは多々ありましたし、何年か前に「屋久島」に行った時も「ヤマビル」に注意するように現地の人から言われました。動物の二酸化炭素や熱に反応してすぐに飛びつくようです。頭上の木の枝にもついていて人などが通ると落ちてくるとのこと。

放送によると最近丹沢山系の近くや厚木地区の住宅街に「ヤマビル」が多く生息して住民が吸血される被害が広がっているようです。これはシカやイノシシや小動物が住宅地に下りてきて体に付いた「ヤマビル」を落としていく。また、丹沢山系に登山をした人たちの体に付いてきてバス停等に落としていく。バス停には（「ヤマビル」を落とさないで）の看板もありました。人は吸血されてもほとんど気がつきません。

また、自家用車で来た人たちは車の中に持ち込んで自宅まで運ぶ恐れもあるとのことでした。茨城県ではまだ確認されていないようですが見つかるのも時間の問題のようです。歓迎したくない生き物ですので注意したいものです。

佐藤　輝雄記

広報委員会からのお知らせ

次号2012年7月号の発送は6月27日(水)発送の予定です。うしく里山の会ホームページではカラーの会報を見ることができますので是非ご覧下さい。また会報に対するご意見や皆さまからのご投稿をお待ちしております。　　メールのアドレスは (u-satoyama@jcom.home.ne.jp)です。

※表紙上段の「うしく里山の会」のホームページのアドレスが変わりました。